

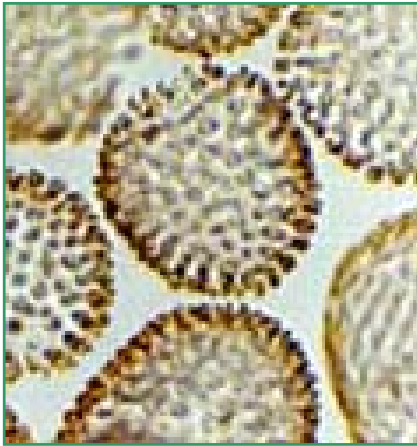
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第40報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年1月6日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、引き続きウログレナ アメリカーナが優占種であったが、細胞数は少なくなった。キクロテラ グロメラータの細胞数も減少した。動物プランクトンは引き続きハネウデワムシが最も多く、ついでコドネラ クラテラが多かった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	440

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	80

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年1月6日

第40報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1700		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas fastigata</i>	20		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	35		
(黄鞭) <i>Synura sp.</i>	20		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella sp.</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	14		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	210		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	63		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	55		
(珪) <i>Synedra acus</i>	2		
(珪) <i>Cocconeis placentula var. leneata</i>	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Gomphonema sp.</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	120		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	60		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1795	76.4	61.6
(珪) 珪藻綱	374	15.9	15.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	7.7	20.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1	0.0	3.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2350	総体積 (μm^3)	1.05E+06
種類数	17		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。